

群馬県景気動向指数（令和5年10－12月期）

1 景気判断

10－12月期の景気動向指数は、先行きに弱さがみられるものの、回復を示している。《上方修正》

2 結果と特徴

| | | |
|----|------|--|
| CI | 先行指数 | 10月：114.8 11月：111.7 12月：111.8 (令和2年=100) |
| | | 10月、11月は下降、12月は上昇した。 |
| CI | 一致指数 | 10月：116.8 11月：117.0 12月：116.7 (令和2年=100) |
| | | 10月は下降、11月は上昇、12月は下降した。 |
| DI | 先行指数 | 10月：50.0% 11月：16.7% 12月：16.7% |
| | | 10月に50%となった後、11月に50%を下回り、12月も50%を下回った。 |
| DI | 一致指数 | 10月：50.0% 11月：75.0% 12月：50.0% |
| | | 10月に50%となった後、11月に50%を上回り、12月に50%となった。 |

※採用指標に改訂があった場合や、季節調整替え等を実施した場合、過去に遡って数値が改訂されることがあります。

3 事業の概要

【目的】景気変動の大きさや方向性を把握する。

【作成方法等】

- ・景気に敏感かつ重要な指標を系列（先行、一致、遅行）ごとに複数選定し、各系列のC I及びD Iを算定する。（採用指標は公表資料9頁参照）
- ・C Iは、景気変動の大きさや勢いをとらえるものである。各系列を構成する指標の前月からの変化率を合成することにより算定する。
- ・D Iは、景気変動の方向性や、各経済部門への波及度合いをとらえるものである。各系列を構成する指標のうち、3か月前と比較して改善している指標の割合（％）として算出する。50%を上回るか下回るかによって、景気が上向きか下向きかの判断を行う。
- ・景気変動の観察に当たっては、C IとD Iを相互補完的に利用する。

《景気判断の経過》

| | | | |
|------|---------|----------------------------|--------|
| 令和4年 | 10－12月期 | 景気動向指数は、持ち直しの動きがみられる。 | 《上方修正》 |
| 令和5年 | 1－3月期 | 景気動向指数は、足踏みを示している。 | 《下方修正》 |
| | 4－6月期 | 景気動向指数は、緩やかな持ち直しの動きを示している。 | 《上方修正》 |
| | 7－9月期 | 景気動向指数は、緩やかな持ち直しの動きを示している。 | 《据え置き》 |

4 次回公表予定

令和6年4月19日（金）（令和6年1月分）